

パリ

2026年2月26日

2025年のコミットメントを達成 収益性のさらなる向上 営業活動によるキャッシュフローが過去最高を記録 堅調な受注

- 売上高は209億ユーロ、既存事業ベースで0.5%増
- 強固な商業的モメンタムにより、年間受注額は246億ユーロと前年比38%増加（下半期は47%増）。
2億2,500万ドル規模の初のバッテリーエネルギー貯蔵システム（BESS）契約を獲得
- 営業利益はさらなる改善。前年比0.4ポイント増の9億7,700万ユーロで売上の4.7%となり、目標を達成
- キャッシュ創出における期待通りの決定的な転換を確認
 - 一時的な事業再構築費用を除くフリーキャッシュフローが過去最高の7億5,600万ユーロに達した一方で、運転資本需要は3億100万ユーロ増加
 - 一時的な事業再構築費用参入後のフリーキャッシュフローは5億8,900万ユーロ、純金利支払い後のフリーキャッシュフローは3億7,100万ユーロとなり、目標を達成
- 純利益は23%増の2億ユーロ
- 純負債は40億2,200万ユーロ、レバレッジ比率は1.3倍、2億6,300万ユーロの為替差損を含む
- 2026年5月21日の株主総会において、1株当たり0.44ユーロの配当を提案予定
- 2026年、ヴァレオは「Elevate 2028」で設定した軌道に沿って、依然として厳しい環境下で収益性とキャッシュ創出のさらなる向上を目指す。グループは以下の目標を設定：
 - 売上高は、200億から210億ユーロ、OEM売上の実質成長率は横ばいと想定
 - 営業利益率は売上高の4.7%から5.3%
 - フリーキャッシュフロー（純金利支払い後）は、4億ユーロ超

「2025年度通期決算は、ヴァレオがその地位を強化し、「Elevate 2028」プランの軌道がすでに順調に進んでいることを示しています。収益性の改善を継続し、過去最高の営業活動によるキャッシュフローにより、期待通りのキャッシュ創出への転換を達成しました。

強固な受注水準は、私たちのビジネス戦略の強さを裏付けるものであり、成長軌道の強固な基盤となります。ヴァレオは、将来の成長を牽引する地域での展開を拡大しています。2025年には、世界的に評価されている技術的リーダーシップがさらに強化され、特に、ソフトウェア・ディファインド・ビークル（SDV）や運転支援システムにおける最新のイノベーションは、2026年に市場に投入される車両に順次導入される予定です。

この業績は、世界で働く私たちのチームのコミットメントとレジリエンスを反映したものであり、彼らの機敏さ、決意、そして強い連帯感が、これらの目標達成の鍵となりました。

この業績を強みに、依然として厳しい環境において、私たちは収益性とキャッシュ創出の改善を継続することを目指して2026年に臨みます。このダイナミズムを「Elevate 2028」に組み込むことで、ヴァレオは私たちの業界で進む変革の中であらゆる機会を捉え、強固なファンダメンタルズと堅実な成長見通しにより、2028年に向けてより力強く、より機敏で、業界をリードするグループになるとの確信を改めて表明します。」

クリストフ・ペリヤ ヴアレオ最高経営責任者（CEO）

| | 2024年 | 2025年 ガイダンス | 2025年 | 2026年 ガイダンス (a) |
|---------------------------------------|--------|-------------------|--------|--------------------|
| 売上高（十億ユーロ） | 21.5 | ～ 20.5 | 20.9 | 20 - 21 |
| 調整後EBITDA（売上比） | 13.30% | [13.5% - 14.5%] | 14.70% | |
| 営業利益率（売上比） | 4.30% | [4.5% - 5.5%] | 4.70% | 4.7% - 5.3% |
| 一時的な事業再構築費用を除く フリーキャッシュフロー（百万ユーロ） | 551 | [700 - 800] | 756 | |
| 一時的な事業再構築費用算入後の フリーキャッシュフロー（百万ユーロ） | 481 | >550 | 589 | |
| 純金利支払い後のフリーキャッシュフロー （百万ユーロ） | 247 | >300 | 371 | >400 |

(a) 2026年2月13日に発表されたS&P Global Mobilityの予測に基づいています。これらの予測は、2026年2月26日時点で施行されている関税や貿易制限にこれ以上の重大な変更がないこと、あるいはマクロ経済環境の著しい変化や重大なサプライチェーンの混乱がないことを前提としています。

主要業績数値

2025年12月31日を期末とする財務諸表は、2026年2月26日の取締役会によって発行が承認されました。本プレスリリースの発行日時時点で、会計監査人は監査手続きを完了しており、報告書の発行プロセスにあります。

| 損益計算書 | | 2025年 | 2024年 | 増減 |
|----------------------------|---------|---------|--------|----------|
| 売上高 | (百万ユーロ) | 20,903 | 21,492 | -3 % |
| 売上総利益 | (百万ユーロ) | 4,229 | 4,081 | +4 % |
| | (売上比) | 20.2 % | 19.0 % | +1.2 pts |
| 研究開発費 | (百万ユーロ) | -2,273 | -2,127 | +7 % |
| | (売上比) | -10.9 % | -9.9 % | -1.0 pts |
| 販売管理費 | (百万ユーロ) | -979 | -1,035 | -5 % |
| | (売上比) | -4.7 % | -4.8 % | +0.1 pts |
| 営業利益 | (百万ユーロ) | 977 | 919 | +6 % |
| | (売上比) | 4.7 % | 4.3 % | +0.4 pts |
| その他の収益および費用 | (百万ユーロ) | -168 | -313 | -46 % |
| 負債コスト | (百万ユーロ) | -256 | -251 | +2 % |
| 法人所得税 | (百万ユーロ) | -205 | -99 | ns |
| 非支配持分およびその他 | (百万ユーロ) | -55 | -72 | -24 % |
| 純利益 (グループ帰属分) | (百万ユーロ) | 200 | 162 | +23 % |
| | (売上比) | 1.0 % | 0.8 % | +0.2 pts |
| 1株当たり基本利益 | (ユーロ) | 0.81 | 0.67 | +21 % |
| | | | | |
| キャッシュフロー計算書 | | 2025年 | 2024年 | 増減 |
| 調整後EBITDA | (百万ユーロ) | 3,082 | 2,863 | +8 % |
| | (売上比) | 14.7 % | 13.3 % | +1.4 pts |
| 有形固定資産への投資 | (百万ユーロ) | -790 | -1,138 | -31 % |
| 無形資産への投資 | (百万ユーロ) | -971 | -1,086 | -11 % |
| 内、資産計上された開発支出 | (百万ユーロ) | -930 | -1,045 | -11 % |
| 運転資本の変動 | (百万ユーロ) | -301 | 492 | ns |
| 内、在庫の変動 | (百万ユーロ) | 119 | 251 | ns |
| 一時的な事業再構築費用を除くフリーキャッシュフロー | (百万ユーロ) | 756 | 551 | +37 % |
| 一時的な事業再構築費用 | (百万ユーロ) | -167 | -70 | ns |
| 一時的な事業再構築費用算入後のフリーキャッシュフロー | (百万ユーロ) | 589 | 481 | +22 % |
| 純金利支払い後のフリーキャッシュフロー (新定義) | (百万ユーロ) | 371 | 247 | +50 % |
| | | | | |
| 財務構成 | | 2025年 | 2024年 | 増減 |
| 純負債 | (百万ユーロ) | 4,022 | 3,813 | +209 |
| レバレッジ比率 (純負債/EBITDA) | | 1.3x | 1.3x | |

ヴァレオは2025年に209億300万ユーロの売上高を記録

| 売上高 (百万ユーロ) | 売上比 | 2025年 | 2024年 | 増減 | FX | スコープ | 既存事業ベース (LFL) 増減* |
|----------------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|----------------------|
| OEM売上 | 83% | 17,301 | 17,950 | -3.60% | -2.30% | -0.70% | -0.60% |
| アフターマーケット | 10% | 2,135 | 2,262 | -5.60% | -3.30% | -3.20% | +0.9% |
| その他 | 7% | 1,467 | 1,280 | +14.6% | -2.00% | +1.6% | +15.0% |

S&P Global Mobilityの推計による自動車生産台数は、主に中国での10.2%の増産に牽引され、2024年比で3.9%増加しましたが、欧州と北米はそれぞれ0.7%と1.2%減少しました。

このような背景の中で、ヴァレオの2025年度の**総売上高**は209億300万ユーロとなり、2024年比で2.7%減少しました。

為替レートは、主要な国際通貨、特に米ドルと中国人民元に対するユーロ高により、2.4%のマイナス影響を及ぼしました。

グループ構成の変化は、0.8%のマイナス影響となりました。これは、(i) 2024年6月30日の商用車向けサーマル事業、(ii) 2024年8月のアフターマーケット向け機器の製造・販売会社であるPIAA、および(iii) 2025年12月の自動車向けパワートレイン・システム・センサー事業の売却に関連するものです。これらの売却により、「Move Up」プランで発表したヴァレオの非戦略的資産の売却プログラムが終了しました。本プログラムの下で売却された資産の累積企業価値は、当初目標の5億ユーロに沿ったものとなりました。

既存事業ベースでは、売上高は0.5%増加しました。

OEM売上は、2025年度に既存事業ベースで0.6%減少しました。これは、地域ミックスによる3ポイントのマイナス影響、中国メーカーのシェア拡大に伴う急速な顧客ミックスの変化、および北米での電動化や欧州の特定のプラットフォームにおける一部の顧客の苦戦による影響を受けました。また、ADASプロジェクトの中止による影響も受けました。

アフターマーケット売上は、前年同期比で既存事業ベース0.9%増となりました。これは、保有車両台数の増加と経年化、および電動化やリマニュファクチャリング分野における付加価値製品のより魅力的な提案によるものです。

「その他」の売上、これは主に金型と顧客からの研究開発協力金からなりますが、既存事業ベースで15.0%増加しました。これには、特に、減損損失の対象となった契約キャンセルに伴い、顧客から受け取った補償金が含まれます。

2025年には、欧州において市場を上回る実績、北米では市場並みの実績、中国では顧客ミックスを再構築

| OEM売上*** (単位：百万ユーロ) | 売上比 | 2025年 | 2024年 | 公表値増減 | LFL増減* | 市場比 (pts) ** |
|------------------------|-------|--------|--------|---------|--------|-----------------|
| 欧州 | 50 % | 8,609 | 8,596 | +0.1% | +0.8% | +2 pts |
| アジア (中国を除く) | 15 % | 2,761 | 2,907 | -5.00% | +0.7% | -2 pts |
| 中国 | 14 % | 2,349 | 2,652 | -11.40% | -6.90% | -17 pts |
| 北米 | 19 % | 3,265 | 3,454 | -5.50% | -0.90% | 0 pts |
| 南米 | 2 % | 317 | 341 | -7.00% | +7.0% | +4 pts |
| 合計 | 100 % | 17,301 | 17,950 | -3.60% | -0.60% | -5 pts |

* 既存事業ベース

** 2026年2月13日に発表されたS&P Global Mobilityの自動車生産予測に基づく (2025年の世界生産成長率：+3.9%)

*** 仕向地別OEM売上

2025年のOEM売上は、既存事業ベースで0.6%減少し、不利な地域ミックスによる3ポイントのマイナス影響を考慮すると、自動車生産を5ポイント下回りました。

欧州では、全てのディビジョンが自動車生産を2ポイント上回る実績に貢献しました。これは、サーマルおよび低電圧システム（パワー・ディビジョン）の堅調な活動、ディスプレイやテレマティクスの生産開始と立ち上げに伴うインテリア・エクスペリエンス事業（ブレイン・ディビジョン）の良好な勢いと、欧州の自動車メーカー向けのライティング（ライト・ディビジョン）における多数の生産開始を反映しています。

中国を除くアジアでは、ヴァレオは自動車生産を2ポイント下回りました。しかし、インドでの事業は活発で、グループは2024年比で既存事業ベース43%増となる3億ユーロ近いOEM売上高を記録しました。これは、2024年から2028年の期間に同地域での売上高を3倍にするという「Elevate 2028」プランに沿ったものです。ディビジョン別では、パワー・ディビジョンが年間を通じて市場を上回り、ブレイン・ディビジョンは下半期に市場を上回りました。

中国では、2025年の実績の乖離は17ポイントでした。新エネルギー車の急速な成長と中国の自動車メーカーによる市場シェア拡大を背景に、グループは顧客ポートフォリオの再構築を継続しました。2025年12月31日時点で、中国の自動車メーカーに対する受注高対売上高比率は2.8倍に達しました。グループは、OEM売上の54%と受注の63%を中国の自動車メーカーで記録しました（2024年はそれぞれ約50%と60%）。ディビジョン別では、特に現地メーカー向けのサーマルシステム事業（パワー・ディビジョン）の良好な業績と、中国の電動化における新規参入企業との多数の生産開始の恩恵を受けたライト・ディビジョンの下半期における継続的な進展が注目に値します。

北米では、実績は自動車生産並みとなりました。これは対照的な傾向を反映しており、ブレイン・ディビジョンとライト・ディビジョンがグローバルな自動車メーカー向けの生産開始の遅れによる影響を受けた一方で、パワー・ディビジョンはトランスミッションシステムの良好な勢いに支えられました。

南米では、グループは自動車生産を4ポイント上回る業績でした。

2026年の展望：「Elevate 2028」プランで示した軌道に沿い、依然として厳しい環境下で、ヴァレオは収益性とキャッシュ創出のさらなる改善を目指す

| | 2025年 | 2026ガイダンス (a) |
|----------------------------|-------|---------------|
| 売上高（十億ユーロ） | 20.9 | 20 ~ 21 |
| 営業利益率（売上比） | 4.7% | 4.7% ~ 5.3% |
| 純金利支払い後のフリーキャッシュフロー（百万ユーロ） | 371 | >400 |

(a) 2026年2月13日に発表されたS&P Global Mobilityの予測に基づく。これらの予測は、2026年2月26日時点で施行されている関税や貿易制限にこれ以上の重大な変更がないこと、あるいはマクロ経済環境の著しい変化や重大なサプライチェーンの混乱がないことを前提とする。

将来予想に関する記述に関する注意事項（Safe Harbor Statement） t

本書に含まれる声明のうち、過去の事実でないものは「将来予想に関する記述」を構成します。これらの記述には、将来の財務実績、事象、事業、サービス、製品開発、および潜在的かつ将来の業績に関する予測、推定、およびそれらの基礎となる仮定、プロジェクト、目標、意図、期待に関する声明が含まれます。ヴァレオの経営陣は、将来予想に関する記述が本書の日付時点で合理的であると考えていますが、将来予想に関する記述は、予測が困難で一般にヴァレオの管理が及ばない多数の要因、リスク、不確実性の影響を受けるため、実際の結果や事象が将来予想に関する記述で表現または予測されたものと大きく異なる可能性があることを投資家に警告します。こうした要因には、特に、交渉による、または課せられた価格引き下げを相殺するために、コスト削減や製造効率向上を実現する当社の能力が含まれます。ヴァレオがさらされているリスクと不確実性は、主に自動車機器業界に関連するリスク、新製品の開発および立ち上げに関連するリスク、ならびに特定の世界的および地域的な経済・地政学的状況によるリスク、環境および産業上のリスク、ならびに2025年3月27日にAMF（フランス金融市場庁）に登録された2024年ユニバーサル登録文書（登録番号D.25-0180）の「リスク要因」セクションに記載されているものを含め、ヴァレオがAMFに提出した公文書に記載または特定されているリスクと不確実性で構成されています。

さらに、現在特定されていない、またはグループによって重要ではないと見なされているその他のリスクも、同様の悪影響を及ぼす可能性があり、投資家は投資の全部または一部を失う可能性があります。将来予想に関する記述は本書の日付時点でのみ提供されるものであり、ヴァレオは本書の公開後に発生する事象や状況を反映するために将来予想に関する記述を更新する義務を負いません。ヴァレオは、本書で使用される可能性のあるアナリストが発行した分析や第三者が作成したその他の情報について一切の責任を負いません。ヴァレオは、アナリストが発表した予測を検討する意図はなく、またそれを確認することはありません。

ヴァレオについて

テクノロジー企業であり、すべての自動車メーカーとニューモビリティプレイヤーのパートナーであるヴァレオは、モビリティをよりクリーンで、より安全で、よりスマートにするために、たゆまずイノベーションを行っています。ヴァレオは、電動化、ADAS（先進運転支援システム）、インテリア・エクスペリエンスの再創出とライティング・エブリウェアにおいて、技術的・工業的なリーダーです。モビリティの変革に不可欠なこれらの4分野は、今後数年間のグループの成長を牽引しています。

数字で見るヴァレオ：2025年の売上高209億ユーロ | 2025年12月31日時点で、従業員数100,216名、29カ国で149カ所の工場、59カ所の研究開発センター、19カ所の物流プラットフォームを構えています。ヴァレオはパリ証券取引所に上場しています。

※本資料は、2025年度通期決算プレスリリース（英語）の一部を翻訳したものです。内容の全容および詳細については原文（英語）をご参照ください。